

# やす町議会だより

発行 / 鳥取県八頭町議会 編集 / 八頭町議会広報特別委員会  
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-73-0290



## 地域こども教室事業

「なんでもたいけん塾 in 八東川」での手作りいかだ遊び

## もくじ

町長施政方針	2
平成17年度当初予算	3
条例改正	6
一般質問	8
常任委員会報告	22
第3回臨時会、みな様の声	24

第2号  
(平成17年8月)

## 6月定例会

6月17日～28日

第4回

町長施政方針

# 合併協定

# 遵守

## ● 厳しい予算編成

国の三位一体改革の一環として国庫補助負担金の一般財源化、地方交付税の削減などにより歳入の増加は、望めない中、介護保険などの義務的負担は、増大し、厳しい予算編成となつた。  
一般予算は、前年度旧町合計より七%減の九六億九、三〇〇万円となつた。

### ● 町政の基本姿勢は

合併協定書の遵守、旧各町からの引継事項を町政の柱として執行していきたい。

### ● 平成十七年度施政方針は

議員発議案十件を審議し、原案のとおり可決した。一般質問は、十三人の議員が行政全般にわたり質問をした。また、選舉管理委員及び同補充員の選挙、農業委員（議会推薦）を選出した。陳情は、四件を採択、二件を不採択とした。

### ● 行政指針は

①行政改革を推進するとともに、歳出の徹底した見直し

②合併協定書の遵守、旧各町からの引継事項を町政の柱として執行していきたい。

③合併協議会の協定事項を念頭に置き、行財政執行するとともに緩やかな事務事業の見直し、組織・機構の簡素効率化を行う。

④環境マネジメントシステムISO14001に船岡、八東庁舎を含め全職場で取り組む。

⑤行政改革検討委員会を立ち上げ、行政の簡素合理化及び財政の健全化について検討する。

## 平成17年度 予算総括表

(単位：千円)

会計区分		予算額
一般会計		9,693,000
特別会計	国民健康保険	1,690,000
	簡易水道	288,000
	住宅資金	82,400
	老人保健	2,194,000
	公共下水道	468,300
	農業集落排水	804,100
	介護保険	1,356,300
	宅地造成	68,565
	墓地事業	8,500
	老人居室・障害者住宅整備資金	557
	上私都财产区	703
	覚王寺・市場財産区	35
	上津黒・下津黒財産区	38
	篠波財産区	825
	特別会計合計	6,962,323
	合計予算総額	16,655,323

# 平成17年度予算 総額167億円

うち一般会計 97億円

## 船岡小学校建設・プール設計 八東図書室設計委託

### 中央中学校基本設計委託

答 [問] ①予算が足らないというこ  
とになつたら補正予算で対応  
事業とは。  
②とつとり型体験交流支援  
この程度か。  
③中学校の建設費（設計委  
託）の内容は。

○男女共同参画事業	一七五万五千円
○とつとり型体験交流支援事業	八五万円
○中央中学校基本設計等	二、三三〇万円

### 一般会計予算



第1回男女共同参画審議会

### 平成17年度一般会計予算と主な事業

議会費	1億1,025万円	[1.1%]
総務費	12億5,704万円	[13.0%]
町長交際費	900千円	
八頭町総合計画策定	2,450千円	
男女共同参画事業	1,758千円	
財政調整基金積立	150,100千円	
若桜鉄道対策	31,462千円	
国際交流事業	3,011千円	
合併推進事業費	3,928千円	
町長・町議会議員・農業委員会選挙	31,583千円	
国勢調査	7,129千円	
民生費	22億1,913万円	[22.9%]
国民健康保険特別会計への繰出し	164,623千円	
社会福祉協議会への補助金	77,446千円	
生活実態調査費	1,354千円	
介護保険特別会計への繰出し	224,296千円	
障害者支援費制度事業	177,306千円	
放課後児童クラブ建設事業	40,270千円	
保育所費	886,862千円	
衛生費	9億82万円	[9.3%]
ごみ処理費	337,816千円	
老人保健特別会計への繰出し	162,083千円	
農林水産業費	11億4,187万円	[11.8%]
中山間直接支払い交付金事業	19,791千円	
県営中山間地域総合整備事業	24,139千円	

中山間活性化交付金事業	29,154千円
農業集落排水特別会計への繰出し	564,475千円
野生鳥獣被害防止事業	17,841千円
商工費	1億4,129万円 [1.4%]
商工業融資事業	120,857千円
土木費	7億2,403万円 [7.5%]
町道見槐谷本線改良事業	45,650千円
町道日下部見槐線改良事業	42,636千円
町道北山島線改良事業	19,500千円
公共下水道事業特別会計への繰出し	343,405千円
消防費	3億2,787万円 [3.4%]
常備消防費	288,081千円
教育費	13億6,336万円 [14.1%]
郡家西・郡家東小学校一部学年30人学級	4,000千円
船岡小学校校舎建設・プール設計	490,704千円
中央中学校2学年30人学級	2,700千円
中央中学校基本設計	23,300千円
八東図書室設計	6,000千円
町史編纂事業	8,764千円
全国ホッケー交流大会（補助金）	1,500千円
災害復旧費	1億531万円 [1.1%]
公債費	13億6,894万円 [14.1%]
公債費（町債・借入金償還及び利子）	1,368,939千円
予備費等	3,309万円 [0.3%]
合計	96億9,300万円

したい。

②船岡地域見櫻中村で取り組まれている東京都武藏野市との交流事業で、県の補助事業。

③中央中学校の基本設計の委託と土地開発公社が買収している隣地の造成設計委託料。

## 合併特例債活用 財政調整基金残高

1億4,200万円  
8億2,500万円



日韓子ども交流歓迎式

### 《主な事務組合負担金》

#### ○ごみ処理

一億七、一七九万八千円

#### ○し尿処理

三、五一一万円

#### ○消防

二億八、八〇八万一千円

問

①合併に伴い、事務組合の負担割合は変るのか。

②合併特例債一億四、二〇〇万円は、何に使うのか。

③財政調整基金等を繰り出した残りの基金残額は。

答

①平等割が一割で、人口割、搬入割。ごみの処理費については、重量制を検討。

②事業により、国の補助金、合併特例債、県の支援交付金、辺地債、過疎債で県に申請しているので、十月にならないと確定しない。

③八億二、五〇〇万円。

### ○国道二十九号沿線活性化事業

六五万三千円

### ○国際交流事業

三〇一万一千円

### ○隣保館運営費

二、〇一一万八千円

問

①国道二十九号沿線活性化事業負担金とは。

②国際交流は、韓国ということだがもつと詳しく説明を。

③隣保館事業で生活相談員は、何人の配置か。



## 国際交流は韓国と

答

①二十九号沿線の旧羽賀・千種

一宮・山崎の各町と若桜町、八頭町が合併した宍粟市の沿線で広域観光マップの作成、P

Rイベント・物産展・郷土芸能の披露、花の里づくり、チエーン脱着場でのフリーマーケットなどを計画。

②旧八東町で韓国との友好交流協定を結んで取り組んだ経過があり、新町でも引継ぐこととした。十月中旬には、町長、議長が韓国へ、十一月頃には、韓国から郡守さんをお迎えする計画。

子ども交流体験は、小学生一百人を対象に相互訪問を計画している。

③生活相談員は、三人。

## 将来は、振替収納の方向で

問

①管理職手当は、予算書には給料の何%で計上しているか。

②保育所所長の管理職手当は、なぜ八%か。

③納税組合奨励経費と、納税を全部込みとした場合の郵送料等の経費との比較をしているか。



### ○納税組合奨励金

一、七三七万四千円

答

①管理職手当は、

保育所の所長八%、それ以外は、一〇%を基準。

②旧町ではいろいろ。旧郡家町は八%で、これを踏襲している。

③試算は、していない。改めて示す。

問

①合併協議会での検討段階では、平成十七年度一般会計への財政調整基金からの繰入金はゼロだった。今回の予算では、財政調整基金が一億二、七〇〇万円となつている。その理由は。

②十年先、さらには、平成三十六年度までつくられている合併協議会での財政計画が大幅に変更になるとすればどういう形で示すのか。

答

①合併協議会では、八億円余りを基金とし残し、それ以上のすべての基金残は、一般財源化することになつていていたので取り崩した。  
②交付税、税源移譲がどうなるのか不透明だが、今年中には方向性が見えてくるのではないかと思う。総合計画の中で詰めていく。

## 財政調整基金から歳入繰入れ

問

大阪などと続いている国内交流は、八頭町の特産物をPRするためにも大切。今後の考え方。

見榎中と武藏野市との交流、八東地域での大阪住吉区との交流、国際交流では、郡家地域でのドイツとのスポーツ少年団、韓国とのサッカーの交流試合などが

## 国内交流で八頭町発信

問

### 国民健康保険特別会計予算

反対討論 川西議員

負担増を強いるべきでなく、一般会計からの繰り入れも視野に入れるべきで反対する。

賛成討論 前土居議員

現実にみなさんがお医者にいつておられて必要経費だ。この予算はやむを得ないという立場で賛成する。

### 介護保険特別会計予算

反対討論 川西議員

国民健康保険特別会計予算に反対した。したがつて、これにも反対する。

賛成討論 前土居議員

介護保険料は、安いにこしたことはないが、要るものはいるという観点で賛成する。

### 専決処分の承認

◇船岡町しめじ栽培施設設改築工事の請負変更契約

一般県道河原インター線道

問

路改良工事に伴う移転改築工事について補償交渉、用地交渉に日数を要したため、工期を平成十七年九月三十日まで

契約延長するもの。

○補正後  
足を生じたため、平成十七年度同予算を五月三十一日に補正して繰上げ充用としたもの。

○補正前  
二三万三千円

一、三三九万六千円

○補正後  
足を生じたため、平成十七年度同予算を五月三十一日に補正して繰上げ充用としたもの。

○補正前  
二三万三千円

一、三三九万六千円

○補正後  
足を生じたため、平成十七年度同予算を五月三十一日に補正して繰上げ充用としたもの。

○補正前  
二三万三千円

一、三三九万六千円

問

どのような徴収努力をしてきたのか。どうすればよかつたのか。



完成間近かのしめじ栽培施設

答

①五月三十一日をもつて額が確定した段階で

平成十七年度の住宅資金特別会計暫定予算を補正した。  
②歳入不足。

○補正後  
足を生じたため、平成十七年度同予算を五月三十一日に補正して繰上げ充用としたもの。

○補正前  
二三万三千円

一、三三九万六千円

○補正後  
足を生じたため、平成十七年度同予算を五月三十一日に補正して繰上げ充用としたもの。

○補正前  
二三万三千円



## 特別委員会設置

### ◇議会活性化調査特別委員会の設置

行政機能拡大強化の社会的要請と分権時代における地方議会の自主性、自立性の強化及び活性化が求められる中、それらに対応できる議会体制の確立が急務となつていて。

そのため、制度と運営の両面にわたる事項を精査し、改革を積み重ねていく必要があることから議会に議会活性化特別委員会を設置し、議会活性化方策について調査検討する。

○委員長 小林久幸議員  
○副委員長 池本 強議員  
○委員 議長を除く議員全員

### 〔同補充員〕

平成十七年六月二十八日から調査終了まで。  
○伊藤 哲子氏 (下門尾)  
○中村 夏子氏 (才代)  
○清水 泉氏 (塩上)  
○平尾 文夫氏 (野町)

### ◇選挙管理委員及び同補充員の選挙 〔議会選出〕

八頭町議会議員一般選挙が

四月二十四日執行され、八頭町議会が発足し、八頭町設置時からの暫定的選挙管理委員の選挙を行い、次の方々を選出した。

任期は、平成二十一年六月二十七日まで。

が役割を果たしたため、八頭町選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、次の方々を選出した。

任期は、平成二十一年六月二十七日まで。

### 〔選挙管理委員〕

小島陽吉氏 (石田百井)

柳原まゆみ氏 (花原)

藤田誠道氏 (新興寺)

小河壽賀男氏 (下濃)

（石田百井）  
（花原）  
（新興寺）  
（下濃）

井上富子氏 (下津黒)  
上月早苗氏 (船岡)  
西田悦子氏 (茂田)

### ◇農業委員会委員の推薦 〔議会推薦〕

議会推薦の農業委員に次の三位を推薦することを決定した。

任期は、平成十七年七月二十日から平成三十年七月十九日まで。

## 陳情の審査

### ▲採択としたもの▼

### ▲不採択としたもの▼

（陳情の趣旨を認める）

（陳情書の趣旨が認めがたい）

\*「パートタイム労働者等の均等待遇実現を求める意見書」採択を求める陳情書

\*「最低賃金の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情書

（陳情者 鳥取県労働組合総連合議長 前田吉郎）

（陳情者 鳥取県労働組合総連合議長 前田吉郎）

\*「骨太方針2005」において住民本位の地方財政確立に向けた意見書採択を求める陳情書

\*「最低賃金の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情書

（陳情者 自治労連鳥取県本部執行委員長 植谷和則）

（陳情者 鳥取県労働組合総連合議長 前田吉郎）

\*陳情書（町の公共施設の管理について）

（花区長 野田昭仁他一名）

### 問

社会的権利の弱い立場の人間のことを考えた場合、当たり前の要求だと思うが。

### 答

鳥取県の労働最低賃金と引き上げ要求金額に差があります。また、全国一律最低賃金の確立を早期に図るということは、現実にそぐわないのではないか。

\*「景気回復・生活不安解消」を求める意見書の提出に関する陳情書

（陳情者 日本労働組合総連合会鳥取県連合会会长 安田邦夫）

\*中学校教科書採択に当たつて配慮すべきことに関する陳情

（陳情者 鳥取県教科書改善運動連絡協議会会长 井上万吉男）

### ■議会の傍聴をお待ちしています。

- 傍聴は、申込書に住所、氏名を記入していただくだけで、簡単にできます。傍聴席は、先着の方25席です。
- 委員会も傍聴できます。手続きは、本会議と同じです。ただし、傍聴席は、委員会室の広さにより異なります。

### ■議会や議会だよりへのご意見をお寄せください

議会に関するお問合せ・ご意見は 八頭町議会事務局

〒680-0495 八頭町船岡539 船岡庁舎  
TEL (0858) 72-3975 FAX (0858) 73-0290

# 町政執行の基本姿勢をたどる

## 一般質問に十二人の議員が登壇

六月議会定例会で町政に対する一般質問は、二十一日、二十一日の二日間行われ、十三人の議員が登壇。新町誕生にあたり町長の志とビジョン、地域の活性化策などの質問を行い、町政執行の基本的姿勢をただしました。

質問、答弁を要約しました。

問



池本 強 議員

### 船小改築一体育館、プールはいつごろできるか

町長 来年には完成、プールは

来夏には使用できる

住民と膝を交えて話したいとのことであるが、住民の意見を求めるには主観的対応ではなく、地域審議会的なものを組織するなど法的に担保された仕組みづくりが必要と考えるがどうか。

(1) 住民参画の町づくりを目指すため、座談会を開くなどして、今後町内の生徒数が大幅に中央中学校の改築について、体育館・プールは予定どおり行われるのか。

答 西山教育長

① 地域審議会については、自治法で設けることが出来ることになっているが、それがいいのかどうか、その辺も課題としたい。

② プールは本年度に着工し、来年夏には使いたい。十八年度には、体育館の建設、グラウンド・中庭や駐車場等の整備を行い、完成したい。

③ 今回の予算で基本設計費を計上、着工は財政計画を考えながら考えていく。耐力度試験も含め考えていく。

④ 船岡小学校改築工事について、体育館・プールは予定どおり行われるのか。

⑤ 将来的には、統合も検討しなければならない。

に減つてくるが、他校の整備についてはどうお考えか。教育成果・学校経営上の規模についてどう判断されたなかでの今回の取り組みか。船中の改修工事について、どう認識されているのか。

答 平木町長

① 地域審議会については、自治法で設けることが出来ることになっているが、それがいいのかどうか、その辺も課題としたい。

② 町内の遊休農地として、田・畑約七〇haが報告されているが、この現状と課題、解消策についてどうお考えか。

③ この春定められた食料農業農村基本法により取り組み

中山間地直接支払い事業緩傾斜地はどうするか

町長

手元に資料がないので調査してみたい

答 平木町長

① この春定められた食料農業農村基本法により取り組み

② 本年度より二期

対策の始まる中山間地域等直接支払制度について、どう認識されどう取り組む考

えか。緩傾斜地も対象にできないか。



廃れはてた田





山本 弘敏 議員

たい。具体的には農地の保全を図りながら、農業生産基盤の整備、公社を主軸とした農地の流動化、集落営農の推進、認定農業者（現在四十二人）の育成に努めたい。

②遊休農地の解消は緊急的課題で、地域の問題としてとらえ地域全体で取り組むこと。施策としては、直接支払い制度による集落協定。共同作業による農地保全、集落営農の推進、公社の受委託での耕作推進など理解が必要。

③前期対策の対象二十八集落に現在説明会を実施。後期に新しい地域ができたらと考えている。実施されるところがあれば調査をしてみたい。

◆その他の質問

- ・平成十七年度予算と行財政改革について
- ・平成十六年度予算と行財政改革について
- ・平成十五年度予算と行財政改革について
- ・平成十四年度予算と行財政改革について
- ・平成十三年度予算と行財政改革について
- ・平成十二年度予算と行財政改革について
- ・平成十一年度予算と行財政改革について
- ・平成十年度予算と行財政改革について
- ・平成九年度予算と行財政改革について
- ・平成八年度予算と行財政改革について
- ・平成七年度予算と行財政改革について
- ・平成六年度予算と行財政改革について
- ・平成五年度予算と行財政改革について
- ・平成四年度予算と行財政改革について
- ・平成三年度予算と行財政改革について
- ・平成二年度予算と行財政改革について
- ・平成一年度予算と行財政改革について
- ・平成零年度予算と行財政改革について

## 若桜鉄道の存続は

町長 住民皆様の意見を  
聞いて



若 桜 鉄 道

問

昭和六十二年十月国鉄から引継ぎ、第三セクターの鉄道として、若桜鉄道が発足してから十八年が経過した。運営

持株数から考えれば、いずれ八頭町長が社長にならなければならぬかも知れないが、このような状況を踏まえたなかで、町長は若桜鉄道存続について、どのようにお考えか。

答 平木町長

若桜鉄道の運営状況は深刻で、利用者の減が大きな問題だ。平成十六年度の決算予定でも、三、七〇〇万円の経常

経費の赤字が出ている、まだ決まっている訳ではないが、今後の赤字補填には、県や鳥取市は付き合うことはできないとの話もあるようだ。

八頭町は筆頭株主となるが、換が計画されている。

私は社長への就任は辞退したい、現在の社長である若桜町長に引き続きやつていただきたいと思っている。今後の考え方としては、本当に町民の皆様が税金を投入しても残す

## 船岡小学校グラウンド整備を早く

町長 早期のグラウンド整備は  
再検討

問

船岡小学校は、今年の六月三十日で校舎が完成し、子供

答 平木町長

ことができない思い出として残ると思う。

しかし、校舎は完成しても、強いられている。グラウンドの整備を一日でも早く、できれば来年の秋の運動会に間に合おうようにできないか。

今年の夏には間に合わないが、来年の夏には使用できるよう

に、事業を前倒しして十七年度事業として計画した。グラウンドについて、は、体育館建設との絡みもあり、工事の工程上で安全管理等の検討課題

も多く、再度調査し、できるだけ早い時期に完成させるこ

とができるいか、また完成に至らなくても、一部でも使用することができないか、そのあたりも含め検討したい。

のか、ここあたりを、フオーラムやシンポジウムを開いて、改めて住民の皆様のご意見を伺わなければならないことだと思つてゐる。

## 町政執行の基本姿勢は

町長 合併してよかつたと言える町づくりを



鎌谷 收 議員

答 平木町長 通しは。

町政執行の基本姿勢は、所信表明で申し上げたが、合併協議会であった話を、いかに調整していくか。主義主張ばかりではなく、合併してよかつたと言える町づくりをしたい。

①好きな言葉、「継続は力なり」「敬天愛人」。

厳しい選挙戦を制して初代八頭町長に就任されたが、最高責任者として、町政執行に取り組む決意と基本的な考えは。

①生活信条と座右の銘は、八頭町長に就任されたが、最高責任者として、町政執行に取り組む決意と基本的な考えは。

②厳しい財政状況の中で、十七年度予算編成は、どのような方針の基に編成されたか。③町総合計画策定に当たつてどのような手順で、いつ頃の予算編成が、どのように報告したい。

④文化ホールの件は、私は早くとは言っていない。できたら欲しい。財政問題もあるので、総合計画の中で考えたい。

④選挙中、「文化ホール」の必要性を強調されたが、その意志を確認したい。その場合の規模と建築場所、財政見



## 学校建築計画と 幼・保一元化は

町長 幼・保は、しきみ違う  
教育長 船小は18年度完成  
中央中は基本設計

問

①教育施設、特に学校建築について将来構成と建築計画、関連して学校規模にアンバランスが生じているが、校区編成の見直しについてどう考えるか。

②国は、幼稚園と保育所の機能を一体化した総合施設として「幼・保一元化」施策を推進導入しているが、児童教育の一貫性と、子育て支援体制の強化の観点から本町での導入検討の考えはないか。

①学校建築計画は、船岡小

は十八年度にすべての事業を完成しては、既に中央については、既に十二年度体

育館が完成しており、本校舎の基

本設計にかかる段階である。

昭和五十六年以前建

築の数校に

順次耐震・

耐力度調査を計画した

い。

合併協議会

についても取り上

げられてい

ない。長期

的に児童・

生徒数の推移、関係者の意向、

教育上の諸問題、財政状況な

ど幅広い角度から総合的に検

討しなければならない。

②幼・保一元化の件は、元

幼稚園の長所を可能な限り取り入れた運営に努力している。

答 西山教育長

り、国の主管も分かれている。②本町においては、幼稚園がないので、現在の保育所に幼稚園の長所を可能な限り取り入れた運営に努力している。



船岡小学校新校舎

問

旧三町が合併し、今までに新町が動き出した。これからは、「合併してよかつた」と言える八頭町を目指していくか、過疎になりはしないか、こ



森山大四郎 議員

## 新町誕生にあたり町長の志とそのビジョンは

町長 視点を変えた新しい町づくりを

②単に物事を足して三で割るということにはならない。それぞの特徴を生かして、その中でお互い切磋琢磨していくようになりたい。



姫路公園 安徳の館



ふる里の森 管理棟



竹林公園 竹林庵夢竹

れ以上の負担・住民サービスは低下しないかという不安の声も聞かれる。合併は新しい地域づくりのチャンスとしてとらえ、次の考え方を町長にお伺いする。

①これからの八頭町の目指すものは。

②地域の均衡ある発展は。

③今一番急ぐものは。

④職員に求めるものは。

答  
平木町長

①八頭町に誇りを持ち、「人が輝き、集い、夢広がる町」が第一だ。しかしこの一、二年ではなかなか難しいと思うが、住民の皆さんと一緒に考えていく町づくりをしたい。

問  
それぞの旧三町には、すばらしい町のシンボル・自慢できる施設や自然がある。旧郡家町には安徳の里姫路公園、旧船岡町には竹林公園、旧八東町にはフルーツとブナ林の

里、ふる里の森である。その施設はそれぞれの目的、用途によって造られ、交流・文化ができる地元の人たちに愛されてきた。しかし、年々、施設等の老朽化、集客など共通の課題がある。今後において

◆ その他の質問  
・特色ある教育行政は

上設置できることから本当に設置すべきなのか考えたい。  
③町のリーダーシップを取りながら旧町のやり方を調整

し八頭町方式を確立したい。  
④お互い問題意識を持ち、政策提言できる職員になつてほしい。

は、施設管理運営について再考する時期では。  
旧三町の施設は自然を使つたとしてもいい施設だと思うが、内容的にも考えていく時期にきている。

## 今後の施設運営は

### 町長 全ての施設に指定管理者制度を検討

町長 全ての施設に指定管理者

制度を検討

施設管理については、三施設とも直営方式であるが、それぞれの地元部落や管理組合に委託している。将来的には指定管理者制度を法的に導入し議会と相談しながら考えたい。

施設管理については、三施設とも直営方式であるが、それぞれの地元部落や管理組合に委託している。将来的には指定管理者制度を法的に導入し議会と相談しながら考えたい。

答  
平木町長

## 地域の活性化について

### 町長 各集落の活性化が八頭町の活性化



小倉一博 議員

敬老会が開催され、出席させてもらつた。公民館、婦人会、区長さん方のお世話になり、立派な会をしていただきお礼を申し上げたい。

地域コミュニティの活性化ということで、一つの理想の形と思つた。

各種団体育成の支援をして行きたい。若い人が少ない中、自警団の再構築もお願したい。それぞれの集落が活性化しないと八頭町の活性化はない。皆さんのが集い話し合いをする場、拠点となる施設を重点的に整備したい。

新町となり、町民は大きな期待を寄せていて。反面、十分町民の声が届くのか心配もしている。空き家や独居世帯も多く見受けられる現状で、地域の均衡ある活性化策をどのようにお考えか。

公民館については、郡家地域に二つ、船岡地域に四つ、八東地域が現在一つだが、この度、丹比地区の山村開発センターを図書室を兼ねた公民館的なものに改良。安部地区の就業センターを用途変更して公民館として使えないか模索しているところだ。

**答 平木町長**

この度、郡家、船岡地域で

## 男女共同参画社会について

### 町長 仕事と家庭の両立支援を



校庭での元気な子どもたち

少子化や高齢化社会を迎える男女が相互に理解し助け合う共同参画社会が求められている。習慣や固定観念を見直し、家庭で地域で取り組む課題も多いが、行政の後押しが必要な課題もある。

次の三点について具体的にお聞かせください。  
①女性の社会進出の応援。  
②子育て支援策の制度と施設の現状と今後の取り組み。  
③DV・子ども虐待について、本町の現状と被害防止の取り組み。

**答 平木町長**

①女性の就業機会の促進。町行政の審議会等の登用について四〇%を目標に、企画の段階から女性の声を行政施策に生かしたい。

鳥取県は女性の就業率が高く八頭町においても仕事と家庭の両立支援が必要と考える。

②子育て支援について、平成十五年に次世代育成支援対策推進法が制定された。

町単位で策定された行動計画を合体させ八頭町の次世代育成行動計画を作成したい。

現状はファミリーサポート、特別医療助成、保育料軽減、児童手当、延長保育、一時保育、放課後児童クラブ等の施策がある。土曜日の午後の保育について希望が多いところもあり考えていくたい。

③子どもの虐待については、現在八頭町の児童虐待防止ネットワーク設置要綱を策定中。

◆その他の質問  
・ゆとり教育の実践について  
・どういう子どもに育てたいか。



問



前土居一泰 議員

先の町長選挙で町民へ公約された事項の中で、私が重要と考えている項目の具体的な取り組み内容を尋ねる。  
①「融和」をキーワードとされることがありますですが具体的に

## 公約の具体的な実施計画は

町長 対等合併であり、納得して進めたい

にはなにか。

融和策の一つとして町長（代理を含め）は町内全戸の葬儀に出席すべきだ。基準を作り、行く家と、行かない家の区別をするのは許せない。

②集落単位で座談会を開き、

町民の声を聞き、町政に生かすと言われているが、一二八の集落に本当に行けるのか。時間が過ぎてからでは価値がない。

③保育時間の延長と、土曜

日の午後保育の実施を約束しておられるが、直ちに試行されはどうか。

④これからは特に情報公開が重要である。町長交際費の公開は公約されているが、その他の特に公開すべき項目は何か。どのような方法で公開するのか。

答 平木町長

①合併は対等合併であり、旧町のルールを主張しがちになる。お互に納得して進まないと八頭町民の心が一つにならないと思っている。

葬儀への出席の件ですが、

八東・船岡の地域では代理を取り組み内容を尋ねる。合併協議会の中で「町長も大変だろう」ということで、公の方以外は基本的には出ない

で弔電だけとなつた。この件は変えることができない。

希望があれば拠点の施設を十八年度から増やしたい。

④町長の交際費の公開は四半期ごとに広報紙に出したい。

土曜日午後の保育は、十五ましたら、区長さん方と相談して、早い時期にやりたい。旧の校区単位も含めて検討する。

③午後七時までの延長保育の利用者は二十一人であり、

希望があれば拠点の施設を十八年度から増やしたい。

④町長の交際費の公開は四半期ごとに広報紙に出したい。



行政懇話会



区長会の様子

## 人口減少に歯止めをかけるには

町長 住宅政策など総合計画で  
考えたい



河村 久雄 議員

また結婚対策、人口減少に歯止めをかける具体策は、住宅政策と思うが、これらの取り組みについて尋ねる。

答 平木町長

人口減少に歯止めをかけるには、何らかのアクションを起こさないとダメだと

子供は、社会の宝、国の宝であるが、出生率が一・八八と発表された。

少子化が進む一方で六十五歳以上は全国で一九・五%、八頭町二五・一%と少子・高齢化社会が進んでいる。

また、日本の人口も今世紀末には半減するとも言われている。この状況で保育所、小学校の再編と出生率を高める対策、子供が生れたら育てやすい環境づくりを支援することである。

町長の選挙公約で、子育て支援についての、五項目につき具体的に尋ねる。

小学校、中学校の再編も今後の課題として、議会、町民



登校時の学童

の意見も聞かせていただきたい。

結婚対策は、各地域でそれを考えられているが、プライバシーの問題もありむづかしい。

保育料の四〇%減額は国基準からであり、合併協で決められた六〇%とする結果は同じことである。

八東・船岡地域で行つてゐるファミリーサポートセンター

で子育ての手伝いをしてほしい方々と子育てをしたい方々が会員となり相互援助を行つておられるものを八頭町として輪を広げたい。今現在、保育所・小学校にパンフレット等を配布し活動を開催している。

放課後児童クラブは、小学生一から三年生で家に帰つても保護者がおられない生徒を指導、育成するもの、今年、国から内示があり、郡家東・西小学校区で整備を考えている。

## 給与の見直しは

町長 職員とも話をしていく

問

報酬・給与の見直しについて、公債比率、経常収支比率ともによくなく、交付税の削減等、財政も決してよくない

わけで、他市町では給与三九五%、管理職手当二〇%カット等が行われている。

一億四、一〇〇万円の勤勉手当に対する考え方と、五%カットした場合、年間削減効果について尋ねる。

答 平木町長

合併協で財政推計されたおり、地方交付税が一三%減となり、本当に財源は厳しい状況。今、最善の努力をし、総合計画の中で見直しをする。

- ◆その他の質問
- ・地球温暖化対策に対する取り組みは

問



樋 稔 議員

①農業の今後は特色ある特産品開発、地産地消販路の自助努力拡大、法人組織等の農業施策を構築し、農地を守り、希望が持てるよう強くなりーダーシップが必要と考

①農業について、農村基本法ができ、国県の方針にある程度沿っていく。本町の農業を持続的に発展活性化するためには関係団体と一緒に考えていきたい。

②林業は山紫水明、山があり、川があつて、海がある。国土保全・水源涵養・環境保全・林産物生産を行う。

③商業は商店会が寂れると町に活気がなくなる。行政として商工会と一緒にになって考

## 農林商工業振興策は

町長 対話重視で進めていく

えるが。

②人が生きていくには山は必要だ。適正な施策、環境保全に努め山紫水明の町にすべきと考えるが。

③商業は着実に衰退の一途にと進んでいる。地元の商業が活力がなくなれば町が閑散とする。行政として着実な基盤づくりが必要不可欠と考えるが。

④企業は大変厳しい経営状況下と察する。企業を誘致し雇用を確保することは町の重要な施策だ。的確な情報を収集され努力されるべきと考えるが。

答 平木町長

本法ができ、国県の方針にあら程度沿っていく。本町の農業を持続的に発展活性化するためには関係団体と一緒に考えていきたい。

②林業は山紫水明、山があり、川があつて、海がある。国土保全・水源涵養・環境保全・林産物生産を行う。

③商業は商店会が寂れると町に活気がなくなる。行政として商工会と一緒にになって考

えていきたい。商店の中には空き店舗がある。こういうものを活性化の一つとして利用していきたい。

④工業については、旧町の八頭町としてアンテナを高く上げ情報収集したい。

時代から工場誘致をしてきた。

空き店舗がある。こういうもた企業でも海外に進出するが、も高速光ファイバーを活用すことできることで多面的機能を備えた

## 情報通信基盤の整備は

町長 総合計画で考えていく

問

情報公開が強く言われる中、合併して町が大きくなり安全で安心して住める町づくりが

求められている。そのためには災害、気象情報が適確に提供できる行政無線を含めた通信基盤が早急に整備されること

答

平木町長

八頭町内における光ファイバー網は、郡家NTT内に整備されている。本庁舎、船岡

庁舎、八東庁舎が鳥取情報ハイウェイで結ばれており行政間の通信が可能になつてている。今後においては総合計画、財政計画を踏まえてデジタル化による防災無線の整備、テレビの難視聴地域、CATVの整備事業、携帯電話の不感地域解消等いろんな問題が山積している。総合計画の中で考えていく。

また、膨大な予算を必要とするが、全体を見る中で安全で安心な町に早くしたいと考えており、防災無線については、早めに取り組んでいきた



防災無線スピーカ

## これからの中学校運営は

町長 総合は今後の話合い



西尾節子議員

問

六月二日の新聞によると、

合計特殊出生率が過去最低の一・二八台になり、人口減少

社会の到来だと言われる。八頭町の人口動態を、県が出した小冊誌で見ると、昨年のゼロ歳児は一三三人となっている。

今年の入学児童数は一六二人であるから六年で約三〇人減となる。

本年度の一年生は大江四人、隼七人、安部九人、八東八人は、一学級として適した数ではないと思う。こうした小規模校を何校も抱えることは経済的にも問題がある。

答 平木町長

合併協議会で、校舎、学校統合の問題は前面に出せない事情があつた。

八頭町の前から、六校を二校に統合した。統合を各地域の方に押し付けられるわけにもいかないので、各地域・集落に出かける時の話し合いのテーマの一つとして掲げていきたい。

中学校は、現在、中央三十五人、船岡一三二人、八東二五七人であるが、十年後には中央二五七人、船岡一〇八人、八東一一三人となり町全体で四七八人となり、町で一校が適正規模だと思う。

今から学校運営のための費用などシミュレーションで示して町民に理解を求める必要があるよう思うが。

答 平木町長

一年間かけて、皆さん意見をいただいて改良できるものは改良する。

①東部広域行政管理組合でいうよりも、県全体でごみ処理問題に取り組まれ東・中・西で考えていくべきということから、東部としては二か所の処理場を持つて、両方で三七〇トンの施設を造るのがいいのだろうということだ。

西御門の話は三か所目。周辺のみなさんにはまだ話していない。これから環境アセスメントに三年、設計に一年、

造成本体工事に四年と計八年要すると言わわれている。

- ◆その他の質問
- ・集落営農の取組は
- ・体育協会の今後は

## ごみに係る問題は

町長 ごみ袋の改良はみんなの声を聞いて

問

①東部広域ごみ処理施設の設置について、十七年度に西御門地域に環境アセスメントが入るように伺っているが現在の状況が知りたい。

②新町になつてから、月に一回三種類の回収日があり広いスペースが必要となる。また、曜日で決まっていたのが崩れたのはどうしてか。

③新しい袋は使いにくいと言ふ人もいる。今までの袋が使い切れないで困るという意見があるので困るという意見があるので、二ヶ月でも延ばせないか。

地域の町として、部落のみなさんと一緒にやって、部落のみなつて話を聞いていきたい。

②ごみの収集については、全体的に月に一回増えたので、回数のたぶりが出た。

(全地域では袋は、旧三町で話し合って決めた。今後



ごみステーション（3種類収集日）の状況

問



岡嶋正広議員

- ①八頭町初代町長として、町政執行の基本姿勢は。
- ②町民の生の声を知り、目線に立つての町づくりとは。
- ③人口を増す施策は。



## 町政執行の基本姿勢は

町長 合併して良かったと言える町づくり

答

平木町長

- ①旧三町の温度差というものを克服し、合併して良かったといえる町をつくりたい。
- ②公約の中で各集落を回らせていただきました話をしました。膝を交えて話し合いたい。
- ③住宅対策を考えている。行政施策ばかりではなく民間活力も導入したい。
- ④男女共同参画審議会を設置、行動計画を策定したい。人権尊重の町づくりについても審議会で総合計画・実施計画を見ながら計画すべきと考へる。今後の課題を考えている。
- ⑤合併協定の項目もあり、各町長に引き継ぎ事項をいただいている。まずもつてこの事項をきっちりと行うべきだと考へる。

- ④男女共同参画社会の推進、人権尊重の町づくりの具体的な方法は。
- ⑤町民の要望、生活の安全、安心をどう予算に盛り込んだのか。その基本的な考えは。

## 大型建設事業は

町長 中央中学校の基本設計を予算計上

問



中央中学校校舎

- 次の三点について問う
- ①文化ホールの建設は
- ②中央中学校の建設は

答

平木町長

- ③役場庁舎の建築は
- ①財政計画を見ながら計画すべきと考へる。今後の課題

問

八頭町の教育長として、どのように教育行政を推進していかれるのか。その教育方針を問う。

答 西山教育長

- 社会教育として、笑顔あふれる学校づくりと、知・徳・体の基礎を身に付けた土台のしっかりとした子供の育成に努めたい。
- 社会教育として、幼稚から高齢者までどこでも学習できる条件整備に努めたい。
- 社会体育として、体育協会を中心の活動と、行政の取り組むべき事項を整理して町民の体力向上、スポーツ振興に取り組みたい。
- また町同推協と学校教育により人権教育にも力を入れて行きたいと考える。

と位置付ける。

- ②基本設計を予算計上。統合問題は今後の課題。

- ③今はいつ建てるということは考へていない。町民の皆さんと話し合いたい。

## 水中運動利用者そのための送迎バス復活は

町長 現体制では困難



川西 聰議員

問

八東保健センターで行われる「水中運動教室」の利用者送迎が、合併を機に廃止された。この運動は健康に良く、大変人気があり、送迎があつたため奥の地域の住民も喜んで教室に出ていた。廃止の理由は。

合併になつてから送迎は全くしていられないわけであり、実際に送迎をしてみて無理だと判断するなら理解はできるが、「交通手段の確保があればいくらでも参加したい」という住民の要求に町長は応えるべきではないか。また、住民がこの運動で健

康になれば、当然医療費は増さなくとも済み、国民健康保険の医療費にも関係する問題であるが、所見はいかがか。

答 平木町長

教室は現在、週に一回（木曜日）あり、午前・午後インストラクターが指導しているが、四月になり利用者が少し減つたようである。郡家や船



八東保健センターポール

問

## ゴミ処理場建設設計画の情報公開を

町長 東部広域行政管理組合に進言する

東部広域行政管理組合が計画中で、ゴミの広域処理を図るために大型焼却炉の建設に関する住民に情報公開が十分にされていない。事故の例、ドイツで起きた灰

岡地域の方は自家用車でおいでいただいている現状だ。合併になつて、利用者の送迎の対象地域が八頭町全域に広がり、これをカバーするだけの余力がなくご無理を願っている。

八東地域の送迎はあるべきだつたと思うが、八東地域のみ送迎をすれば当然不公平感が生じてくる。大変申し訳ないことだが、隣近所誘い合つておいで願いたい。

進歩しているので実績のあるものを使うべきだと進言したもの。

②スラグは正式に認可はない。

③空気の滞留の有無。生物の調査等が環境アセスメントである。空気が本当に滞留するならば、県からの許可は出

み送迎をするにはスラグの問題では、愛知県東海市の灰溶融施設の事故、青森県弘前市やむつ市の事故、東京都立川市の事故等々。

溶融炉の二回の事故、愛知県東海市の灰溶融施設の事故、

スラグの問題で、千葉県我孫

市がスラグの使い道がなく野

山あいで空気が溜まりやすく、

高温焼却の流出で大気汚染につき地域住民が安心し納得で

なる可能性、以上の諸問題に

・公営住宅の建築について

・諸施設の冷房設置について

・病後児保育の実現について

・国際交流にあたつての基本

・教科書採択にあたつての留

意点について

・船岡小学校の建築について

答 平木町長

①ごみ焼却場での爆発事故は聞いたことがない。物を燃やせば一トンは燃やせば一トンは出る。この

灰の始末が大変なため埋め立てをして出る灰の量は一〇トン

として出る灰の量は一〇トン

形化しようとするもので、炉

全体が溶融化の炉もあれば主

灰、飛灰だけ取り出して溶融する施設もある。今の技術は



## 住民主役のまちづくりの進め方は

町長 まず情報公開。座談会などで町民の参画を



矢部博祥議員

問

合併により人口も増え、多様な知恵や能力を持つた人々の輪が広がるとともに町づくりへの関心も高まっている。住民の知恵と力・行動力を結集して新町を創造していくこそ旧三町の一体感づくりにもつながり、行政運営をスマートにする源だと考える。

①町長が公約されている「住民参加のシステムづくり」の基本姿勢と施策内容は。

②町民が主体的に町政に対して意見や提案、参画をし、その声を吸い上げ、ファイードバックしていくくしくみとか、

答

平木町長

行政と住民の双方面での交換ができるしくみを条例などによりルールづくりすることが必要と考える。これについての所見は。

①議会と両輪で町民の皆さん方の意見をお聞きしながら考えていく。まずはみなさんが求めておられる情報を的確に公開していく。ホームページ、防災無線、公聴会、パブリックコメントも含めて活用したい。

定期的に座談会を設けて、町の方針についてのお尋ねや各集落の要望を改めて問い合わせみたい。

政策決定過程で議会や団体との話し合いも進めたい。

②きっちりとしたファイードバックをしていく。町民の皆様に分かるようにホームページでもやつていきたい。

問

## 全町民が困っている獣被害対策の支援を

町長 電気柵等の補助率アップも考えたい

答 平木町長

う考えているか。

③町の補助金は、旧郡家町では、二分の一だったと聞くが、新町では、三分の一とされている。本当に困っている問題であり、どうやって手を差しのべていくのか。

①作物の被害は、昨年一、二六〇万円ぐらい。猪の電気柵補助については、要望に応えるべく何とかしたい。昨年から集落単位とし、各農事組合を窓口にして進めている。

- ◆ その他の質問
- 男女共同参画について
- NPOやボランティアとの協働について
- 情報公開と情報通信基盤の整備について

獣被害は、農地・農作物のみでなく、民家の庭先が荒らされ、町民が危害を受けるまでの現状で、今や農家だけでなく、全町民の問題となつている。昼夜を分かたずの猪、熊等のテロ攻撃に町民が力を合わせて取り組む必要がある。

①被害の現状と町としてこの対策に取り組む基本的な考え方は。

②町等の補助による獣被害の割合で実施されているか、未実施地域への支援拡大をど



電気柵の補修作業

①町長が公約している「住民参加のシステムづくり」の基本姿勢と施策内容は。

②町民が主体的に町政に対して意見や提案、参画をし、

その声を吸い上げ、ファイードバックしていくくしくみとか、

その声を吸い上げ、ファイード

バックしていくくしくみとか、

その声を吸い上げ、ファイード

三分の一が決定していた。集落単位で取り組む場合、県も補助率のアップを考えている

ようなので、町としても対応していきたい。電気柵のコ

ドだけの場合も何とか考えた

## 新庁舎建設についての見解は

町長 四年内には建てることができない



秋山宏樹 議員

問

①現在の本庁舎及び分庁舎方式での行政執行を今後とも、継続されるのか、あるいは、町長在任中の四年の内に新庁舎を建設され、機能移転されるつもりなのか。

②建設はしないとなれば、手狭な郡家本庁舎の機能の一部をこの余裕のある船岡庁舎に移転し、有効活用される方策は考えられないか。

③八頭総合事務所を庁舎として活用させていただくことは可能なのかどうか。県側と協議される意思是は。

④今後、新庁舎建設問題が発生した時は、その必要性に

答

平木町長

①合併の効果を上げるためには本庁方式、総合支所ではなく支所方式がいいと思う。これから職員が減つてくる中で、本当に町民サービスを考えたとき、どうなのかということが議論されてくると思う。

新庁舎は四年の内には建てることができないと思う。いろんな方法、流れの中にあって五年後には建てるとか、私申し上げる筋の問題ではない。

②庁舎の活用については、考えてみたいと思うが、なるべくなら、一か所の方が決裁がスムーズに流れると考える。

③八頭総合事務所の件は、今後の問題として話はしてみたい。

④この新庁舎問題については住民アンケートを実施するに至らないと思っている。

ついて、全町民を対象としたアンケートを実施される気持ち、意思是はあるのか。

## 安心して暮らせる町の防災対応は大丈夫か

町長 昼間に職員が出勤できる体制をとる

問

①昼間の火災発生時に、消防車の出動が迅速にできず、町民の方々から、不信、不安の声が出た。合併後の職員異動で消防車の出動に必要な最低三名の人員確保が出来なかつた。この事実は、まさに行政の失政、失態である。一刻も早い出動体制づくりが不可欠と考えるが、対応をどう考えているのか。

②定員割れしている分団がある中で、満六十歳定年制を設置したのは、今ある組織の崩壊につながると危惧するがいかなる理由か。

- ◆その他質問
- ・水道料金の納付書配布方法について



第1回鳥取県東部地区消防ポンプ操法大会

答

平木町長

①大変迷惑をかけたが、昼間の火災にどれだけの人数があつて出られるのかどうか、チェックして、二度とそういう事がないように昼間に、職員が出動できる体制を今どつてている。

②全体で四名定員割れしている現実があるが、消防団については、満六十歳定年でやらせていただき、団員確保をしつかりやつていく。

③新入団員の確保策で、職員の採用時にそういう条件を設けるべきではという指摘は、試験枠の中には要件として入らないと思つてている。また、団員の各種手当問題は、それぞれの協議会の中で協議され、ベターな段階で調整がついていると想つてている。そのため

③新入団員の確保策として、あるいは、女性団員の登用の考えは。また、各種手当の見直しは考えていないのか。

## 八頭町議会議員

# 石破正仁氏ご逝去



八頭町議会議員石破正仁氏（郡家殿、六十三才）は、不慮の事故により七月十八日亡くなられました。

石破さんは、旧郡家町議会議員に初当選された平成十三年から合併後初の八頭町議会議員選挙で当選され

郡家選挙区の欠員により、中田明議員を紹介します。



中田 明 議員

③抱負は

本年度、新町政として第一歩を踏み出したわけですが、若者の定住はもちろんのこと、高齢者及び子どもたちが、安心して生活できる本町を目指し、町民の代表として、町民皆様のお声を大切に頑張つて、今後、ご意見ご指導を承れば幸いです。

○稻荷地内県道の拡幅用地として確保していた用地の売却。

○旧郡家町土地開発基金及び五名の地権者から中央中学校改築事業ほか用地として

●支入  
【平成十六年度決算】

二億二、八〇一円

●収入  
【平成十六年度決算】

一億二、六一六万円

●支出  
【平成十六年度決算】

一億二、六二〇万円

●支入  
【平成十六年度決算】

△四万円

●支出  
【平成十六年度決算】

一億五、一七五万円

●支入  
【平成十六年度決算】

一億四、三〇〇万円

●支入  
【平成十六年度決算】

三七五万円

●支入  
【平成十六年度決算】

●長期借入金  
【平成十六年度決算】

一億四、三〇〇万円

●支入  
【平成十六年度決算】

△五二一萬円

同校隣接地等を取得。  
六年度未累積赤字は、九

●収支差額  
【平成十六年度決算】

二七万円

●収支差額  
△五二一萬円

六年度未累積赤字は、九

●収入  
【平成十六年度決算】

一億二、六一六万円

●支出  
【平成十六年度決算】

一億二、六二〇万円

●支入  
【平成十六年度決算】

△四万円

●支入  
【平成十六年度決算】

一億五、一七五万円

●支入  
【平成十六年度決算】

一億四、三〇〇万円

●支入  
【平成十六年度決算】

△四万円

●支入  
【平成十六年度決算】

一億五、一七五万円

●支入  
【平成十六年度決算】

△四万円

# 常任委員会報告

## 産業建設常任委員会

### ■大型施設の実態を調査

5月26日に八頭町の八東ふる里の森、船岡竹林公園、安徳の里・姫路公園などの大型施設、土木関係施設の実態を調査。利用者数は減少傾向にあり、早急に運営の方向等協議を必要とする。

また、優秀な施設であり町民はもとより、教育の一環として施設の利用を図っては。

### ■6月議会定例会で、付託議案の審査を行った。

#### (予算内容の一部)

##### ・単町土地改良事業

一か所20万円以下で材料支給、総額150万円。

##### ・転作関連事業

水稻作付面積は計画に対し97.8%で未達成。

##### ・バイケミ農法

交付金を受け、専属指導員一人雇用。23戸。  
約8ha。

##### ・野生鳥獣対策

補助率3分の2で農家負担3分の1。

##### ・森づくり作業道は7か所。

##### ・地籍調査

平成16年末進捗率は、町全体で4.6%（八東4.1%、船岡4.7%、郡家5.8%）

##### ・簡易水道

郡家10施設、船岡3施設、八東6施設

##### ・公共下水道施設

接続率81%

##### ・農業集落排水施設

接続率77%

##### ・町営住宅造成

郡家団地は14区画のうち2区画残っている。新宿団地は18区画のうち2区画残っている。

### ■今後の課題

##### ・集落営農の推進、荒廃農地の解消を行うため、緩傾斜地の調査と事業推進を行う。

##### ・バイケミ農法（竹を粉にし水田、畑に入れる） 今後取り組み方と普及のあり方

##### ・各種公園他町施設の管理の方向性。

##### ・イノシシ等防護柵の補助率の一部改正。集団で実施すれば、農家負担3分の1を6分の1とする。

##### ・ふれあい祭

今までの経過を踏まえて、新しく取り組む場合、町民に対し説明責任がある。委員会では、閉会中の継続調査を申し出て次の事件他を調査することとした。

##### ・中山間地直接支払い事業に関するこ

##### ・その他所管事業に関するこ

## 総務常任委員会

総務常任委員会では、去る6月6日に消防・防災拠点施設、隣保館・児童館施設について調査・視察を行った。

### ■消防・防災拠点施設

郡家・船岡・八東地域にそれぞれ消防車、水防倉庫、災害用備蓄品保管施設等を配置され、災害・非常時の際の備えを確認した。

視察後の委員会において、

- ① 看板標識等の標示が無い施設が見受けられた。
- ② 災害用備蓄品以外のものが混同している施設がある。
- ③ 防災無線は、各地域の分散した基地局機能であり、早期の統合が望まれる。

等の意見が出された。

災害はいつ、何時起るかわからないので、八頭町としても早急な対策を講じると共に対応マニュアルの確認、住民も参加しての訓練が必要。議会としても住民の安全・安心な暮らしを守るにはどうしたらよいのか、さらなる検討をしたい。

### ■隣保館（船岡地域は文化センター）児童館施設

委員から次の意見等が出された。

- ① 隣保館及び児童館は、特定利用ではなく、周囲の住民を取り込んだ活動を望む。
- ② 八東地域の公民館と隣保館・児童館施設は、一体化した機能的複合施設であり、その取組を推奨すべきだ。
- ③ 公民館事業と隣保館事業で同内容の事業を個々に行っており、（例えば郡家地域の習字教室）調整すべきでは。
- ④ 児童館は老朽化した施設が多く、年次的に改修の必要があるのでは。

今後、この視察結果を参考にして議会活動に生かしていきたい。

## 教育福祉常任委員会

■教育福祉常任委員会は、所管分野が広く、早速に施設を訪問し認識を高めた。

保育所13、学校11、保健センター3、図書館(室)3、公民館3、給食センター3。

■6月議会定例会に上程された議案審査を6月22日～24日に行った。

●教育委員会 13億6,300万円

次代を担う子ども達の教育の充実と、船岡小学校改築が主なもの。

●福祉課 22億1,900万円

子育支援、高齢者の福祉充実が重点。第三子出生祝い金。放課後児童クラブ運営費及び施設建設費、ファミリーサポートセンター。子育支援センター、特別保育事業、延長保育、敬老会、老人クラブ助成、社協補助金等。

・国民健康保険特別会計 16億9,000万円

療養給付費、出産一時金、現行保険証をカード化、人間ドック等。

・老人保険特別会計 21億9,400万円

ほとんど医療給付費であり、年々上昇している。

・介護保険特別会計 13億5,600万円

ほとんど施設・居宅介護給付費である。

・墓地事業特別会計 850万円

船岡地域に造成53区画、永代使用料28万円。  
17年度30区画使用見込み

・老人居室・障害者住宅整備資金特別会計

55万円

金額償還金へ。17年度以降は事業実施しない。

●保健課 9億6,000万円

保健、医療、福祉の一体的な充実のために、基本検診、人間ドック、予防接種、障害者福祉、老人クラブ支援事業等。

議案の審査において問題点を町側にただした。

### ●教育委員会

問 中央中学校改築に向けての考え方

答 住民合意が大切、少子化の中、将来構想を考え教育審議会に諮っていく。

問 船岡小建設促進についての考えは。

答 平成18年3月にプール、8月にグラウンド、12月に体育館の完成を目指し着実に実行していく。

問 八東図書室の設置は

答 八東山村開発センターを改築し、地区公民館、図書室としての機能を充実させ、また、民族文化財資料の保存展示する施設として9月に補正を組み事業実施したい。

問 旧小学校跡地プール管理は。

答 防火水槽の役目もあるが地域と話し合うなか、管理は充分にやっていく。

問 マラソン大会継続は。

答 予算のこともあり18年度からは船岡地域の公認コースでやっていきたい。

### ●福祉課

問 管理職手当の格差の理由は。(保育所長8%、他は10%)

答 県下の状況を調査し検討する。

問 保育所駐車場確保について。

答 数か所の保育所で不便な面があり、今後検討する。

問 夏季、冬期休暇中のみ児童クラブ開設は。

答 検討してみる

### ●保健課

問 ドック希望者の毎年受診は。

答 大切なことであり検討していきたい。

問 在宅介護者に対する金銭での支援策は。

答 考えていない。

ただくのは本意ではない。  
一般財源を国保のみに使つてほしいと言われた時のことを考えたらどうなるか。

第二回八頭町議会臨時会は、平成十七年五月一十七日に招集され、会期を一日限りとし、町長提出議案一件を原案のとおり可決した。

◆國民健康保険条例の改正

問 増税になる」と、「町民に対する申込証ない」と「振落ちがおわいか。全国的に一般会計から繰り入れをして町民の負担増をしない自治体もあるがどうか。また、申請減免の制度を活用して社会的弱者の立場の方の負担増を押さええていただきたい」がひつか。



## 第3回臨時会

町民からの負担を多くいだくのは本意ではない。  
一般財源を国保のみに使つてほしいと言われた時のことを考えたらどうなるか。

更に、本当に困つておられる方については考えてみたい。法定減免は当然ある。

問 國保税は、各地域1Jと比較差が生じる不均一課税となつており、五年間で段階的に統一する非常に分かり難い税金だ。負担に格差があることは不公平だと声もあがる懼れがある。住民に十分な理解と協力を得られる説明をどのように実施するか。

答 合併協で決められた方向で、十八年から五年間で調整したい。町民の皆様もいることは思うが、広報等、出来れば、各集落に出向いて、一つの項目として取り上げて説明をさせていただいたりと思つていね。

- ・本年度は、各地域単位で税率を設定。
- ・平成十八年度から二十二年度にかけ段階的に調整をするが、それまでの間、不均一課税。

## 定例会を傍聴して感じたこと

茂田 上田直子さん

6月議会定例会が始まり、一般質問の二日目、私は婦人会員という立場から傍聴させていただきました。各議員諸氏から繰り出される質問内容は、教育、福祉、産業、環境、少子高齢化と多岐にわたり、熱のこもった質疑応答が展開されました。安心して暮らせる生活圏の確保ということからも、各分野の整備は確かに急務であると思います。

ここで、私が傍聴して特に感じたことは、今まで「花御所柿の郡家」「竹林の船岡」「フルーツの八東」であったように、十年後の八頭町のキャッチフレーズとなるような独自の誇れるものを構想していくことです。それは、かけがえのない八頭町の自然かも知れません。または文化、または産業かも知れません。花御所柿、竹林、フルーツをさらに押し進めながら「人が輝き、集い、夢ひろがるまち」として八頭町が大切にし、こだわりを持つことのできる何かを創造して、町政を進めていただけたらと思います。

## 八頭町議会を傍聴して

坂田 石本立夫さん

まず、町長の就任に当たっての所信表明で、議員と町民の皆様との対話を一日でも早く各部落に行き今後の八頭町の声を取り上げ、合併して良かったと、皆で元気な八頭町発展に一生懸命頑張る事。各地域の特色ある伝統ある町づくりを目標に議員とともに、住民の声を正直に聞かせてほしい。人が輝き集い夢広がるまち八頭町を目指に総合計画が必要です。

また、議会の質問については、言葉使いが聞き取りにくく、分かりにくかったようです。

## 編集後記

八頭町議会もスタートしたばかりなのに、故石破議員の悲しい記者に接しました。

議会の会間に「こんなこともありますだけ」

と、新聞の切り抜きをコピーしたものを見た

いたりしました。

氏の町政に対する思

いを想像するに、さぞ

ご無念であつたろうと

思います。短い出会いとなりましたが、氏の

安らかな永眠をお祈り

申し上げます。

八頭町最初の当初予算を審議する六月議会定例会も終わりました。

正に厳しい船出といつた感想ですが、「金だけじゃないですが、皆

が知恵を出し合つて頑張りますよ」と

ある先輩議員がおっしゃっていました。

議会広報特別委員会では、予算の内容や審議の様子をできるだけ詳しくお伝えしたいの

ですが、紙面と時間の制約に四苦八苦しています。

議会広報特別委員会では、予算の内容や審議の様子をできるだけ詳しくお伝えしたいのですが、紙面と時間の制約に四苦八苦しています。

議会広報特別委員会 副委員長 小倉一博